

報告事項No. 1 1 資料

令和4年度川崎市一般会計教育費の決算について

1 一般会計決算

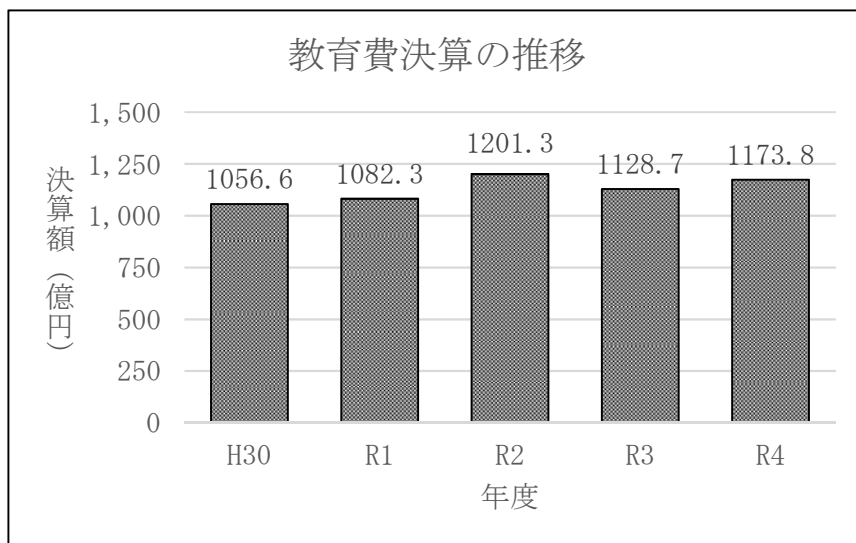
(単位：円)

予算現額	収入済額	支出済額	繰越財源	実質収支
978,801,300,086	858,001,176,502	850,599,276,316	5,461,126,205	1,940,773,981

2 教育費決算

(単位：円)

予算現額	支出済額	翌年度繰越額
132,336,265,000	117,381,276,835	7,102,864,000



教育費決算の推移の概要

- H30 小杉小学校完成
- R1 学校トイレ工事の増 (7校→30校)
- R2 GIGAスクール構想
新型コロナウイルス感染症対策
新川崎地区小学校用地取得
- R3 学校給食費の公会計化
- R4 新川崎地区小学校実施設計
学校トイレ快適化の完了

3 教育費の主要施策の成果（各事業決算額、主な内容）

・教職員の働き方改革

教職員事務支援員の配置（小・中学校 145 校） 136,823 千円

障害者就業員の配置（小・中学校 21 校） 134,612 千円

＊教職員事務支援員又は障害者就業員を、全小・中学校全校（166 校）に配置
部活動指導員の配置（中学校 47 校、うち複数配置 3 校） 45,432 千円

・学習状況調査事業 40,469 千円

市学習状況調査の対象を小4から中3までへ拡充するに当たり、小学校 2 校及び中学校 1 校でモデル実施

・児童生徒指導事業 233,057 千円

小学校では学校巡回カウンセラーを 15 名に増員し、中学校・高等学校ではスクールカウンセラーの配置を夏休み明けの心のケアのため 2 日間増やしたほか、各区に配置しているスクールソーシャルワーカーを 11 名に増員

・読書のまち・かわさき事業 58,709 千円

学校司書（小学校）の配置を 56 校から 70 校に拡充

・学校運営協議会制度推進事業 2,990 千円

学校運営協議会の設置校（コミュニティ・スクール）を 28 校から 48 校に拡充

・GIGA スクール構想推進事業 752,479 千円

学校での端末活用を進めるとともに、ICT 支援員を配置したほか、校務支援システムに蓄積された児童生徒の学籍、保健、成績等の情報を、一覧化、俯瞰して可視化して管理が可能になるよう管理ツール（ダッシュボード機能）を整備

- ・支援教育コーディネーター体制整備事業 3,877 千円
中学校において不登校対策等の充実を図るため、コーディネーターの業務を補完する後追い非常勤講師を全校に配置
- ・特別支援学級運営事業 87,281 千円
特別支援学級に外部人材を活用した介助・支援を実施
- ・医療的ケア支援事業 50,487 千円
特別支援学校における専門医の配置、市立学校への看護師派遣等により、医療的ケアを必要とする児童生徒一人ひとりの状況・ニーズに応じた支援を実施
- ・地域の寺子屋事業 83,071 千円
76か所から89か所に拡充
- ・橘樹官衙遺跡群保存整備・活用事業 387,083 千円
史跡の周知や、「国史跡橘樹官衙遺跡群整備基本計画」に基づき史跡整備に向けた取り組みを推進
- ・教育文化会館・市民館社会教育振興事業 25,265 千円
ICT活用ボランティア育成講座を実施するとともに、コミュニティラジオ放送を活用した講座の実施や、川崎の郷土を学べるデジタルコンテンツを作成し、GIGA端末で閲覧できる副読本ポータルサイトに掲載
- ・図書館運営管理事業 758,433 千円
令和5年度に稼働を予定している市立図書館システムの更新に向けた開発業務に着手したほか、新しい生活様式に対応するため、非接触・非来館型の図書館サービスとして電子書籍を試行導入

- ・博物館運営管理事業 227,412 千円
魅力ある博物館運営を実施するとともに、青少年科学館においては、今後の事業方針を定めるため、第2期青少年科学館運営基本計画を策定
- ・学校保健・安全管理事業 168,671 千円
児童生徒への感染拡大を防止するため、市立学校の感染症対策に必要な衛生用品や、教室の換気対策のためサーキュレーターや二酸化炭素濃度測定器等を購入
- ・学校給食物資購入事業 5,731,948 千円
物価高騰による影響を抑え、学校給食の円滑な実施を図るため、食材料費の高騰分について、新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金を活用し、保護者負担の増加を抑制
- ・校舎建築事業 3,308,600 千円
児童生徒の増加に対応するため、新川崎地区の小学校新設に向けた実施設計や、南百合丘小学校の校舎増築に向けた実施設計等を実施
- ・義務教育施設整備事業 11,761,732 千円
学校トイレの快適化を進め、全市立学校でトイレ快適化を完了したほか、「学校施設長期保全計画」に基づき、既存校舎等の改修による再生整備工事を実施
- ・特別支援学校施設整備事業 28,441 千円
狭あい化に対応するための整備に向けて、中央支援学校高等部分教室及び中央支援学校大戸分教室について基本設計等を実施
- ・社会教育施設整備事業 714,655 千円
教育文化会館の再編整備については、川崎区の市民館機能の移転に向けて、既存施設（労働会館）の活用による実施設計や管理運営計画の策定作業等を行ったほか、鷺沼駅前地区再開発事業に伴う宮前市民館・図書館の移転・整備については、管理運営計画の策定に向けた取組を推進

4 教育費決算の一覧

(単位：円)

款 項	決算額	主な事業
1 3 教育費	117,381,276,835	
1 教育総務費	36,895,778,540	教職員事務支援員配置事業、児童生徒指導事業、G I G Aスクール構想推進事業など
2 小学校費	27,123,079,759	学校運営経費など
3 中学校費	13,172,782,509	学校運営経費、支援教育コーディネーター体制整備事業など
4 高等学校費	3,480,363,526	学校運営経費など
5 特別支援教育費	2,716,442,093	学校運営経費、特別支援学級運営事業、医療的ケア支援事業など
6 社会教育費	3,167,668,470	地域の寺子屋事業、図書館運営管理事業、博物館運営管理事業など
7 体育保健費	12,026,839,183	学校保健・安全管理事業、学校給食物資購入事業など
8 教育施設費	18,798,322,755	校舎建築（新築・増築）事業、義務教育施設整備事業、特別支援学校施設整備事業など